

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)9月21日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23020

部門分類：150 野菜

発信者名：宇野

JA 東びわこイチゴ部会で「みおしずく」定植前研修を実施

9月13日、JA 東びわこイチゴ部会研修会で、イチゴ新品種「みおしずく」の令和5年度の育苗経過について情報提供し、定植前後の管理について注意点を説明した後、令和6年度の生産拡大について呼び掛けました。

今年度、湖東地域では1法人と9農業者が「みおしずく」を栽培し、9月中旬からの定植に向けての苗が確保されたところです。当課は普及指導計画に基づき月に2回程度各施設を訪問し、採苗数の調査と必要な技術支援を行ってきました。

研修会では、3月上旬に育成元株を購入し、6月中旬に親株を移植して本ぽ定植用苗を増殖した結果、増殖率は「章姫」並みであること、気温や花芽分化検鏡結果から9月中旬の定植では花芽が未分化の可能性があるので、定植後数日は水で管理することを説明しました。

また、地域の組織として「みおしずく」地域連携部会が設置され、8月28日に第1回の会合が開催されたことを報告しました。また、今後開催される出荷目合わせ会に参加して規格を遵守した出荷をすることを申し合わせました。

さらに、令和6年産苗募集については、イチゴ部会として団体申請することを申し合わせるとともに、募集要領を説明して多くの部会員の参加を促しました。

今後も、当課は、「みおしずく」の安定生産と生産拡大に向け、引き続き支援していきます。



「みおしずく」の栽培を呼び掛ける普及指導員



定植直前の苗